

「地域と共にある学校づくり」実践紹介だより 第1号

連携・協働のカ・タ・チ

令和元年6月11日発行 福島県教育庁会津教育事務所



「地域と共にある学校づくり」実践紹介だよりを発行します

福島県教育委員会は、平成29年2月に「頑張る学校応援プラン」を策定し、主要施策の一つに「地域と共にある学校」を掲げ、地域社会と学校が一体となって子どもを育てるとともに、学校も地域に貢献する体制づくりを積極的に進めています。

そこで会津教育事務所では、会津域内における「地域と学校の連携・協働」の実践事例等をシリーズで随時紹介してまいります。連携・協働の様々な「カタチ」をご覧ください、各校の取組の参考にしていただければ幸いです。

今回は、喜多方市立上三宮小学校の実践を紹介いたします。

地域の大人と子どもが交流するクラブ活動

～公民館との連携・協働～

喜多方市立上三宮小学校

上三宮小学校では、特別活動のクラブ活動を学校に隣接する上三宮公民館と連携・協働して行っています。年に数回、公民館の卓球教室や手芸教室等の受講生の方々を講師として、公民館でクラブ活動を行っています。クラブ活動の様子をいくつか紹介します。



地域の大人と子どもたちがふれ合う楽しいひとときです！

【卓球教室の受講生の方々との活動】



【手芸教室の受講生の方々との活動】

館長さん、よろしくお願いします！



こんなメリットが！

- ☆ 学校だけではできない様々な活動を行うことができます。
- ☆ 地域の大人と子どもたちのふれ合いの場となり交流が深まります。

↓
学校教育の充実と地域の活性化につながります！



この実践から学ぶポイント！

- ☆ 学校に隣接している公民館活動に目を向け、地域の大人と子どもが交流する場を設け、活動の充実を図っています！